

おざき孝好通信 NO. 8

発行：おざき孝好後援会 354-0022 富士見市山室2-1-7



富士見市議会議員 尾崎孝好

6月議会を終えて

夏の日盛りに木陰の恋しい季節となりました。皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。さて、6月議会が、6月1日より6月17日までを会期として開かれました。執行部より25件の議案、陳情が13件、他に議員提案として7件が審議され、執行部提案の全議案、陳情の1件、議員提案の2件が可決、同意、採択されました。

今回、専決処分^{せんけつしよぶん}(下記参照)の承認を求める議案が条例も含めて10件提出されました。専決処分は地方自治法により認められており、議会を召集する時間的な余裕がない時などに行われますが、議会の果たすべき役割と照らし合わせたとき、その運用に当ってはより慎重であってほしいと思います。

また、議会として今回執行部に申し入れを行いました。今後について検討する必要があるのではないかと考えています。

これからも議会活動、議員活動に精進してまいりますので、変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしく願います。

専決処分とは

議会の権限に属する事項について、長が議会に代わって意思決定を行うこと。専決処分をすれば、議会が議決したのと全く同じ法律効果を発生する。

—主な議案の審議報告—

○富士見市立児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正について(賛成多数にて可決)

(主な内容)

- ・児童活動センターの名称を諏訪児童館に改める。
- ・関沢児童館及び児童活動センター(諏訪児童館)の管理を指定管理者に行わせる。

プロフィール

昭和39年4月21日生

学歴 富士見市立諏訪小学校・東中学校卒
坂戸高等学校卒 専修大学法学部卒

主な経歴

志木市役所職員
諏訪小学校PTA会長
富士見市青少年育成推進員
(社)東入間青年会議所理事長
富士見市消防団副団長

現在

(議会関係)
総務常任委員会委員
議会活性化のための条例策定特別委員会委員
入間東部地区衛生組合議会議員
(地域等)
富士見市商工会総代 きたはら幼稚園評議員
保護司 専修大学校友会幹事

○ 平成 22 年度富士見市一般会計補正予算について(賛成多数にて可決)

(主な内容)

- ・国民健康保険特別会計予算の補正に伴い、同特別会計への繰り出し金を減額する内容。

○ 専決処分の承認を求めることについて

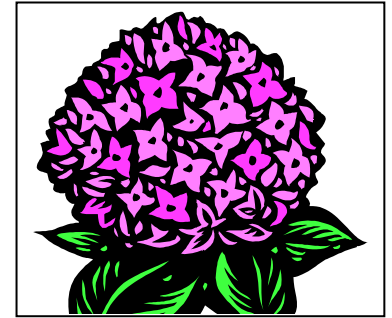
(平成 21 年度富士見市国民健康保険特別会計補正予算について(賛成多数にて承認))

(主な内容)

- ・給付の伸びが当初の見込みより低かったことで、療養諸費や高額療養費を減額する内容。
- ・老人保健拠出金、高額医療費、特定検診費等も当初の見込みより少なかったことで減額する内容。

《6月議会市政一般質問》

今回、大きく3つの点について質問いたしました。
質問と答弁の概略は以下のとおりです。



1. 子育て支援体制の充実について

(1) 次世代育成支援行動計画(後期計画)について

質 問	答 弁
今年の3月に後期計画が策定されたが、平成17年に策定された前期計画に基づくこれまでの取り組みをどのように総括したのか。また、その中からどのようなことが課題として出されたのか。	総括については、各施策の達成状況の確認やニーズ調査等を通して課題の整理を行った。前期計画において、重点施策等については概ね達成しているが、仕事と子育ての両立のための保育サービスの充実、相談事業の充実、経済的支援の充実、ハード面の整備等が課題として挙げられた。
当初の目的を達成できず、後期計画に反映しなかった施策はあるのか。	整理統合を行い、基本的には継承している。達成に時間を要するものなどは、「その他施策」として別記してある。
後期計画において目指すべき子育て支援の基本的な考え方について。	ワーク・ライフ・バランスの実現や利用者の視点に立った目標指標の設定と評価の導入等を新たに取り入れ取り組んでいく。
ワーク・ライフ・バランスの啓発の推進については、どのように取り組んでいくのか。	広報に啓発記事を掲載すると共にセミナー等も行っており、今年度は7月に開催予定。
前期計画の総括を踏まえて、全体指標、基本目標別指標を達成するため、更に成果をあげるための計画推進の方策は。	市の積極的な施策展開、子育て関係団体で構成する「子育て支援ネットワーク」のより一層の充実や活動の活発化により推進していく。また、施策の実効性を高め、施策の改善につなげるための取り組みも進めていく。
浦安市において、就学前「保育・教育」指定事業が行われているが、本市において同様の取り組みは行われているのか。	本市において同様の取り組みは行っていないが、相互の情報交換等、連携の強化には努めていきたい。

(2) 保育所施設整備事業について

質 問	答 弁
平成 23 年 4 月に新たな保育園の開設が予定されているが、地域環境への影響についての市の想定と対応、対策は。	送迎車両の通行路や駐車場等への影響、騒音対策などを想定し、設置予定者と協議を行っている。また、丁寧な地域説明の実施を指導している。民設民営であるが、市としても出来る限りの支援をしていく。
開設予定地周辺(山室2丁目・鶴馬1丁目)は住宅街であり、道路も決して広くはないと思うが、その対策は。	道路等については、地域住民の利便性と安全性を向上できるよう、道路整備等の検討を進めている。
公立・民営保育所(認可保育所)と家庭保育室との連携と総合的な支援プラン作りについては。	双方の役割を理解し、それぞれが共存していくことが当市の保育行政には不可欠である。また、総合的な支援プランについては、現状と国、県等の制度も注視しながら十分に検討していく。

2. 高齢者福祉の充実について

質 問	答 弁
市民意識調査の結果からも「高齢者福祉の充実」が求められているが、「第4期高齢者保健福祉計画」に基づく取り組みについて。	介護予防に力点を置いて進めているが、引き続き介護の基盤整備や地域ケア体制の充実等に取り組んでいく。
介護予防に力点を置くという中では、拠点施設が少ないのではと思うが、見解は。	拠点施設としては2ヶ所であるが、介護予防の取り組みは地域でのサロン等でも行われている。こうした活動も含めて推進をしていきたい。
4圏域に区分している中、包括支援センターの相談体制等の充実については。	平成19年、20年度は直営で高齢者福祉課内に設置し、平成21年度は勝瀬・南畑等の地域を社会福祉法人に委託運営を行った。今後は更なる設置も含めて支援、相談体制の充実に努めていく。

3. 地域活性化への取り組みについて

(1) 地域資源の活用について

質 問	答 弁
地域資源の積極的な活用、PRについてはどのように取り組んでいくのか。	自然やキラリふじみをはじめとする公共施設、農産物等多くの資源が存在していると認識している。そうした地域の資源を輝くものにしていくために、今年度は埼玉県ロケーションサービスへの登録の準備を進めている。また、桜の植樹など新たな取り組みも進めていく。
地域資源の活用、PRについて、新たな発想という点から、高校生や大学生から意見や提案を受けてはどうか。	あらゆる層から意見を聞くことは大事なことと考えており、その方法等については今後検討していきたい。

(2) 産業基盤の強化について

質 問	答 弁
経営への支援や消費の推進、産業誘致に対してどのように取り組んでいくのか。	支援等の必要性は十分に認識しており、今後の基本構想策定作業において方向性を示していく。また、産業の誘致については、計画的な立地誘導等について検討していきたい。
磐田市で行っているが、市内の商店等で使える独自の商品券をつくり、これまでの現金から商品券への支給に代えることを検討してはどうか。	磐田市等で行われている内容は理解しており、今後、研究等を進めていきたい。

(3) 山室・勝瀬地区の開発について

質 問	答 弁
懇談会からの報告を踏まえ、現時点での市としての考えは。	提言と検証結果を踏まえ、いろいろな角度からの研究・検討を行っている状況。 地権者の皆様、周辺住民の方々、そして市にとって最善の方策を見出し、合意形成が図られ、魅力あるまちづくりが進められるよう積極的取り組んでいく。
プロジェクトチームの現状については。	これまでの行政の対応の検証、課題や問題点の整理等を行い、検証結果をまとめ、役割は終了した。
役割が終了したとのことであるが、早計では。	今後具体的なステップに入る段階で、新たな取り組みとして庁内体制を検討したい。
地権者、関係者への情報の提供、共有が必要ではないか。	デリケートな問題であり、状況の変化を踏まえながら、慎重に対応していきたい。

—活動トピックス—

○第5次基本構想策定について

先日、議会に対して「第5次基本構想素案」についての説明がありました。これまで多くの市民の皆さんに参画いただき策定作業が進められてきておりますが、9月にはパブリックコメントの実施が予定されています。是非多くのご意見をお寄せいただきたいと思います。

○議会基本条例策定について

特別委員会(7名)の一員として、議会の更なる活性化のための条例策定に向けて、来年3月を目途として取り組んでいます。

9月定例会は、8月31日(火)から開会される予定です。是非、傍聴にお越しください。

ご意見、ご要望等ございましたらお気軽にお寄せください。

連絡先: 電話 251-4520 FAX 255-2422

E-mail takayoshi@home.nifty.jp

